

岐阜県立土岐商業高等学校

学 校 長 服 部 哲 明

学校所在地 土岐市土岐津町土岐口1259-1 電話0572-54-1291

1 会議の名称 岐阜県立土岐商業高等学校評議員の会（第2回）

2 会議の構成（敬称略）

委員	伊 藤 みち子	本校卒業生
	加 藤 奈生子	土岐地区更生保護女性会
	竹 下 啓 太	専門学校教務科長

学校側	校 長	服 部 哲 明
	教 頭	林 宏一郎
	事 務 長	福 田 好 博
	教 務 主 任	吉 田 敏 雄
	生 徒 指 導 主 事	横 田 勇 司
	進 路 指 導 主 事	林 勇 二
	企 画 広 報 部 長	小 栗 和 成
	（記録）	久 保 田 晴 乃

3 会議の目的

学校運営や教育活動等について地域の有識者や関係機関・団体等の代表者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進し、生徒の健やかな成長を図る。

4 会議の開催 日 時 平成23年3月18日(金) 13:30~15:00

場 所 土岐商業高等学校校長室

出席者 委員3名 学校側8名 計11名が参加

*自己紹介後、会議を行った。

5 会議の概要

テーマ（1）本校の教育について

第一回の会議をふまえて、各分掌（教務部、生徒指導部、進路指導部）よりまとめと課題についての報告を行った。その主な内容は下記のとおりである。

① 教務部

◎平成22年度のまとめ

- ・学科改編について
- ・家庭での学習時間が少なく、学力の定着につながらない。
- ・中学校訪問や、一日体験入学でのPRに力を入れている。

◎過去3年間の各種検定・資格取得状況

- ・日商簿記検定1級に、2名が合格した。

② 生徒指導部

◎平成22年度のまとめと課題

- ・年間の遅刻回数を500回以内にするという目標を達成。
- ・今年度の遅刻回数は、2月末で376回であった。
- ・自転車の盗難に対する注意を呼びかけている。
- ・登校坂での事故が0であった。白線を引いたことで、安全に登校できるようになった。

◎平成22年度の主な部活動成績

◎来年度に向けて

- ・命を大切にす指導の充実
- ・教育相談体制の充実
- ・生徒の規範意識の向上

③ 進路指導部

◎平成22年度卒業生進路状況について

- ・進学率が66%であった。
- ・女子の四大進学者が増加した。

◎平成22年度のまとめと課題

- ・企業からの情報をより正確に学年へ伝える必要がある。
- ・面接指導の方法を、より生徒のやる気を引き出せるよう改善する必要がある。

テーマ(2) 意見交換・質疑応答

意見1：BBSジュニアの活動を、来年度もぜひ継続していただきたい。

意見2：東日本大震災の発生を受けて、卒業生の被害状況の確認やネットワークの強化をする必要があるのではないかと感じている。テレビ等の報道を見ていると、被災地で家族と連絡が取れない被災者が多くいた。災害が発生した時の連絡法なども学校で指導することで、より現実に即したものになるのではないかと感じた。

教 頭：防災訓練は年に2回行っているが、今後より現実に対応した行動ができるよう指導を行っていききたい。

意見3：年間の遅刻回数が500回台から300回台に減少したことは素晴らしい取り組みだと思います。しかし、学校の状況が分からない私には遅刻回数が年間300回を超えるということは多いように感じてしまうのですが、いかがですか。

校長：年間500回というと、一日平均で約2,6人が遅刻していることになります。これは、他校の年間遅刻回数と比べてもとても少ない数となっています。遅刻の理由には、怪我の治療のために病院へ行ってから登校する生徒も含まれており、不注意による遅刻はかなり少ないです。

6 会議のまとめ

評議員の方々より、生徒の学習姿勢などについて高い評価を得ることができた。これからも、学校評議員の方々からの貴重なご意見を参考に「開かれた特色のある学校づくり」を更に推進していきたい。また、「地域あつての土岐商」を合い言葉に教職員が一丸となり生徒の自己実現のため、信頼感を失うことなく教育活動を実践していきたい。